

東海道五十三次

戸塚 とつか江戸より五番目の宿

戸塚は江戸を脱した旅人が最初に泊まる宿場である。江戸から十里(約十き)以上昔の人はまき歩いたものだ

JR東海道線 戸塚駅



英国人ウリアムカーティスが牧場をこりハム製造を明治十年はじめた。

そのときの使用人であった青藤角次が後の明治十四年この地で日本人による初のハム製造を開始。

「鎌倉ハムの誕生地となったところ。」
(柏尾町「不動坂」)



戸塚八幡宮境内にある芭蕉の句碑。

戸塚八幡宮

戸塚の名の起りとなりた社で周囲が古墳古くはこのあたりを富塚郷と呼んでいた。

境内裏山にある墳墓は神社の祭神の一人富属彦命の墓といわれ通称「富塚」と呼ばれていたがこれが後に地名の「戸塚」になったという。

戸塚宿の名物といえる食べ物はないが、戸塚駅前国道沿いの商店街には、歴史の古い和菓子屋、薬局、酒屋などがいまも軒を連ねている。